

開館 15 周年・ZARD30 周年YEAR

「ZARD/坂井泉水 心に響くことば展」の実施報告について

- 1 開催期間：2021年6月1日（火）～7月11日（日）  
※当初会期：5月15日（土）～7月11日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：4,529人／34日間(1日平均：133人)
- 4 監修：株式会社ビーイング

5 開催報告

当館の開館15周年とZARDデビュー30周年にあわせ、ZARD/坂井泉水の歌詞に焦点をあてた展覧会を実施しました。本展では、時代に寄り添い人々を励ました「ことば」を、時代背景と共に振り返り、坂井が愛唱した石川啄木の短歌と歌詞への影響の考察、「詞」に込めたメッセージの紹介を通して、「詞」が紡ぎ出された背景や過程を繙きました。

展示演出において、「ことば」を視覚的・効果的に鑑賞・体験してもらうため、プロジェクターでの映像投影を行い、「ことば」をわかり易く提示するだけでなく、光で演出された「ことば」の中に入り込むという体験的な鑑賞方法を取り入れました。また、代表的な3曲のライブ映像を常時上映するだけでなく、当館としては初めてAR（Augmented Reality：拡張現実）を導入しARで楽曲を視聴できるようにし、合わせて5,809回の利用がありました。

また、コロナ禍で安全に鑑賞していただくために当市としては初めて事前予約制チケットを導入し、1時間半の枠に人数の制限を設けた入替制とし感染防止に取り組みました。

出口の见えない不安に覆われている時代において、彼女の「詞」は再び人々を励まし、前向きな気持ちを引き出してくれ、来館者が「ことばの力」「ことばの大切さ」に気づく機会となりました。

(1) 関連事業

会期初日に予定していた池田功氏の講演会は、当館が臨時休館となったため6月26日に延期し実施しました。ZARDのディレクター2人によるトークショーは募集開始数分で定員に達するほどの人気となり、参加できなかった方々からYouTubeでの公開を望む声を多くいただきました。トークショーの様子は、ZARDを紹介する専用YouTubeチャンネル「WEZARD TV」で8月に公開予定です。会期中いつでも参加できる「ZARD検定」は、回答をYouTubeチャンネル「WEZARD TV」での発表とし、来館できなかった方々にも楽しんでいただけるよう株式会社ビーイングの協力を得て効果的に発信しました。

来館者に感想を自由に書いていただくメッセージカードは753枚集まり、階段の踊り場に張り出したところ、撮影する人、熱心に読む来館者が多く、来館者同士の心の交流の場となりました。

## (2) 資料

直筆歌詞原稿 22 点を含む約 70 点の資料を展示。ZARD 関連資料のほか、石川啄木の自筆資料や中原中也、室生犀星の書籍を出品しました。

また音楽資料としては、ライブ映像を 3 曲上映したほか、AR を使い 8 曲の楽曲提供を行いました。さらに、坂井の想いを観覧者がより実感として感じられるよう坂井の肉声メッセージを流しました。

## (3) パブリシティ

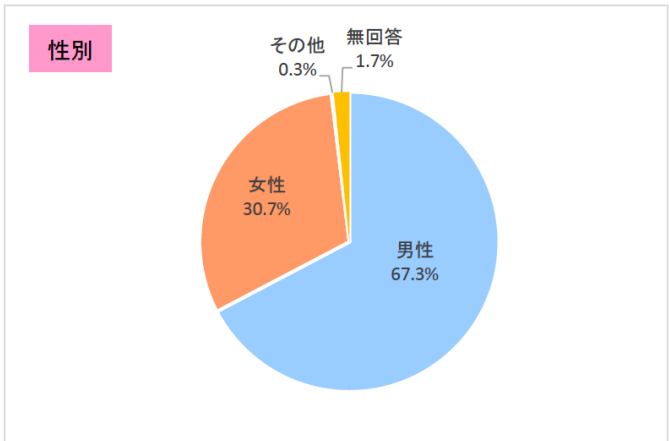
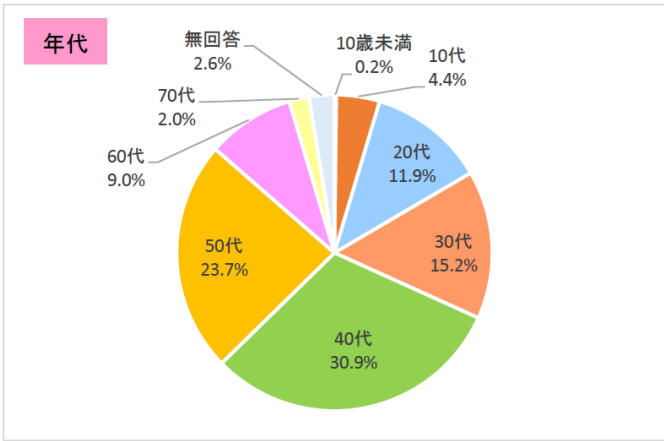
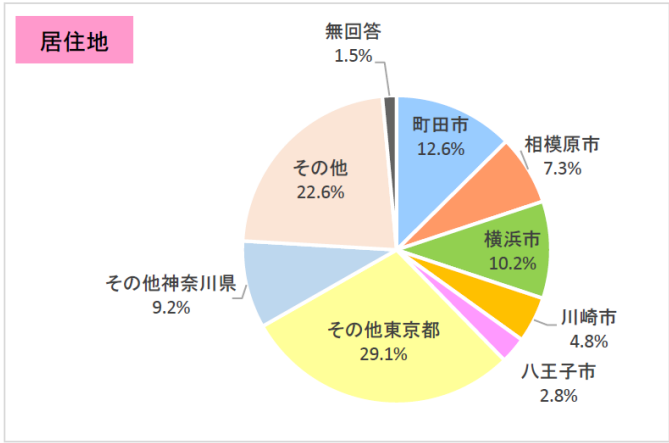
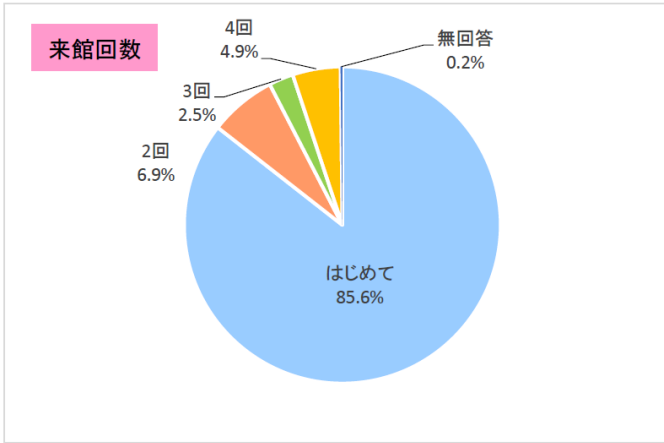
- ・朝日新聞、日経新聞等のほか、フリーペーパーや web への掲載、ラジオ番組での特集も含め約 50 件掲載されました。
- ・久美堂やタワーレコードなど近隣の書店やレコード店で、ポスターやチラシを掲示するなどの特集コーナーを設置していただきました。
- ・新型コロナウイルスの影響で当館に足を運ぶことが難しい方々のために、展覧会の様子を YouTube でご覧いただけるよう、株式会社ビーイングの協力を得て動画配信を行いました。

## (4) 来館者アンケート

本展の特徴としては、初めて来館した方が 85% と多く、また市外からの来館者も 87% と高い割合となりました。また、年代では 40 代が約 3 割と最も多く、次いで 50 代、30 代、20 代で想定していたよりも若い層が来館しており、新型コロナの影響もあるのではないかと推測されます。男女比では男性が 67%、また、約 94% の方から満足の評価をいただきました。来館者の感想は以下のとおりで、本展を通して、坂井の「ことば」を再認識できたとの感想を多く頂きました。

- ・「展示の工夫がすばらしくて、坂井さんの独特のみずみずしいことばをダイレクトに感じる事ができました。又、坂井さんの MC の肉声が聴けてうれしかったです。展示室に ZARD の音楽が溢れていて、こういう展示もすてきだなと思いました。展示されている石川啄木らの版本や原稿がとても良いモノで「ことば」が水脈のように次代のアーティストに続いていることを感じました」(20 代・女性)
- ・「坂井さんが紡いだ言葉のひとつひとつが時代を超えて、新型コロナと言う苦難に直面しながら現代を生きる私たちに、改めて沁みわたりました」(40 代・男性)

アンケート集計より



展示会場

